

## 平成22年10月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年6月4日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション  
 コード番号 7605 URL <http://www.fujicorporation.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部长  
 四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 遠藤 文樹  
 (氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年10月期第2四半期の業績(平成21年11月1日～平成22年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第2四半期	7,913	9.8	715	19.4	743	24.2	401	19.8
21年10月期第2四半期	7,207	—	599	—	598	—	335	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年10月期第2四半期	85.39	—
21年10月期第2四半期	71.30	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年10月期第2四半期	7,806	3,615	46.3	768.94
21年10月期	6,941	3,269	47.1	695.33

(参考) 自己資本 22年10月期第2四半期 3,615百万円 21年10月期 3,269百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年10月期	—	—	—	12.00	12.00
22年10月期	—	0.00	—	—	—
22年10月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年10月期の業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	12,600	3.6	570	2.1	573	2.8	312	2.2	66.36

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年10月期第2四半期	4,840,000株	21年10月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	22年10月期第2四半期	137,917株	21年10月期	137,917株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年10月期第2四半期	4,702,083株	21年10月期第2四半期	4,702,083株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国の経済は、少しずつ世界経済の回復が見られるなか、企業収益にも改善が見えはじめ、緩やかな景気回復の傾向となりました。しかし、国内設備投資は引き続き低調であり、雇用状況も依然として厳しく、さらに政府による経済対策の先行き不透明感から、未だ本格的な回復とはなっていません。

このような状況のもと当社では、消費者の「節約疲れ」の影響と思われる売上がほぼ全店舗で見られ、新店効果とあいまって、店舗売上・通信売上ともに伸ばすことができました。また、引き続き業販部門の強化を継続しており、業販売上も好調に推移しました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,913百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は715百万円（前年同期比19.4%増）、経常利益は743百万円（前年同期比24.2%増）、四半期純利益は401百万円（前年同期比19.8%増）と増収増益となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは4,258百万円（前年同期比10.7%増）、ホイールは2,755百万円（前年同期比5.6%増）、用品は368百万円（前年同期比35.0%増）、作業料は532百万円（前年同期比10.5%増）となりました。また、経路別売上高の状況は、店舗売上高は4,731百万円（前年同期比7.3%増）、通販売上高は2,127百万円（前年同期比6.6%増）、業販売上高は1,055百万円（前年同期比31.6%増）となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ865百万円増加の7,806百万円となりました。また、負債は前事業年度末に比べ519百万円増加の4,191百万円、純資産は前事業年度末に比べ346百万円増加の3,615百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ104百万円減少の307百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、224百万円となりました。（前年同期は192百万円の獲得）

これは主に、税引前四半期純利益735百万円、仕入債務の減少額426百万円、法人税の支払額105百万円などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、271百万円となりました。（前年同期は22百万円の使用）

これは主に、有形固定資産の取得による支出239百万円、建設協力金の支払による支出49百万円などによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、56百万円となりました。（前年同期は251百万円の獲得）

これは主に、短期借入金の増加額200百万円、長期借入金の返済による支出192百万円、配当金の支払額56百万円などによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における売上高及び利益は、ともに当初予想を上回る推移をいたしました。

今後の業績見通しにつきましては、日本経済景気回復感が未だ乏しいことから、現時点におきましては、平成22年3月5日に公表しました「平成22年10月期第1四半期決算短信（非連結）」通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

②税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	311,557	416,572
売掛金	625,388	545,741
商品	2,053,833	2,051,109
未収入金	924,058	323,465
その他	164,087	140,073
貸倒引当金	△87	—
流動資産合計	4,078,836	3,476,962
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,186,926	1,052,690
減価償却累計額	△406,804	△386,429
建物(純額)	780,122	666,261
土地	1,499,448	1,499,448
その他	1,228,878	1,079,289
減価償却累計額	△714,948	△688,758
その他(純額)	513,930	390,531
有形固定資産合計	2,793,501	2,556,241
無形固定資産	71,237	78,604
投資その他の資産		
その他	863,476	829,362
貸倒引当金	△249	—
投資その他の資産合計	863,227	829,362
固定資産合計	3,727,967	3,464,208
資産合計	7,806,803	6,941,170

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,167,384	993,919
短期借入金	300,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	685,714	685,714
未払法人税等	340,970	114,044
賞与引当金	30,210	31,380
前受金	163,686	101,977
その他	205,508	213,982
流動負債合計	2,893,473	2,241,019
固定負債		
長期借入金	936,428	1,129,285
退職給付引当金	34,785	30,285
役員退職慰労引当金	—	208,125
長期末払金	208,125	—
その他	118,380	62,971
固定負債合計	1,297,719	1,430,667
負債合計	4,191,193	3,671,687
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	531,400	531,400
資本剰余金	568,000	568,000
利益剰余金	2,548,371	2,203,267
自己株式	△32,160	△32,160
株主資本合計	3,615,610	3,270,506
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	—	△1,023
評価・換算差額等合計	—	△1,023
純資産合計	3,615,610	3,269,483
負債純資産合計	7,806,803	6,941,170

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)
売上高	7,207,950	7,913,941
売上原価	5,147,903	5,653,409
売上総利益	2,060,046	2,260,532
販売費及び一般管理費	1,460,295	1,544,570
営業利益	599,750	715,961
営業外収益		
受取利息	2,595	2,130
協賛金収入	7,073	27,229
その他	16,751	19,111
営業外収益合計	26,420	48,471
営業外費用		
支払利息	26,439	19,788
その他	1,650	1,580
営業外費用合計	28,090	21,368
経常利益	598,081	743,064
特別利益		
有形固定資産売却益	—	2,238
貸倒引当金戻入額	35	—
特別利益合計	35	2,238
特別損失		
有形固定資産除却損	193	417
ソフトウェア除却損	—	1,670
店舗移転損失	—	7,590
特別損失合計	193	9,679
税引前四半期純利益	597,922	735,623
法人税等	262,666	334,095
四半期純利益	335,255	401,528

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
売上高	3,183,942	3,640,915
売上原価	2,322,196	2,657,208
売上総利益	861,745	983,707
販売費及び一般管理費	703,869	787,694
営業利益	157,876	196,012
営業外収益		
受取利息	1,813	1,313
協賛金収入	50	20,020
その他	8,304	11,621
営業外収益合計	10,168	32,954
営業外費用		
支払利息	13,276	8,963
その他	850	780
営業外費用合計	14,127	9,743
経常利益	153,917	219,224
特別利益		
有形固定資産売却益	—	2,238
特別利益合計	—	2,238
特別損失		
有形固定資産除却損	—	291
ソフトウェア除却損	—	1,670
特別損失合計	—	1,962
税引前四半期純利益	153,917	219,499
法人税等	65,182	100,789
四半期純利益	88,734	118,710



(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	597,922	735,623
減価償却費	54,585	63,302
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,610	△1,170
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,873	4,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,325	△208,125
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	336
受取利息及び受取配当金	△2,595	△2,130
支払利息	26,439	19,788
有形固定資産除却損	193	417
無形固定資産除却損	—	1,670
店舗移転損失	—	7,590
固定資産売却損益 (△は益)	—	△2,238
売上債権の増減額 (△は増加)	△207,030	△17,938
たな卸資産の増減額 (△は増加)	105,123	△2,723
仕入債務の増減額 (△は減少)	△227,098	△426,420
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	208,125
その他	40,772	△32,704
小計	407,085	347,905
利息及び配当金の受取額	1,172	2,131
利息の支払額	△27,557	△20,490
法人税等の支払額	△188,569	△105,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,130	224,175
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金等の純増減額 (△は増加)	△943	317
有形固定資産の取得による支出	△47,465	△239,565
無形固定資産の取得による支出	△3,406	△1,020
建設協力金の支払による支出	—	△49,462
敷金の差入による支出	—	△17,220
その他	29,364	35,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,450	△271,916
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	200,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△192,857	△192,857
リース債務の返済による支出	—	△7,356
配当金の支払額	△55,481	△56,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	251,661	△56,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	421,341	△104,698
現金及び現金同等物の期首残高	269,600	411,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	690,941	307,225

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

(1) 品種別売上高

	前第2四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日		当第2四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
タイヤ	3,845,009	53.3	4,258,116	53.8
ホイール	2,609,040	36.2	2,755,668	34.8
用品	272,562	3.8	368,058	4.7
作業料	481,337	6.7	532,097	6.7
合 計	7,207,950	100.0	7,913,941	100.0

(2) 経路別売上高

	前第2四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日		当第2四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
店舗売上	4,410,309	61.2	4,731,459	59.8
通販売上	1,995,763	27.7	2,127,032	26.9
業販売上	801,877	11.1	1,055,449	13.3
合 計	7,207,950	100.0	7,913,941	100.0